

(様式3)

自己評価結果票 (2階ユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「仕える精神の実践」「あなたも行って同じようにしなさい」を理念とし、また5つの運営方針をもとに、日々取り組んでいる。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>朝礼で唱和し、また会議などの機会においても確認し、実践に向けて日々取り組んでいる。具体的には、職員は「させていただく」という気持ちを持ち、またご利用者を人生の先輩として敬い、言葉や態度で表せるよう努めている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>出石の町に出て、ご利用者の自宅に立ち寄り、散策することなど、必要な方のご家族にはそのことについて相談し、ご理解いただいている。また、地域の方にはその姿を通し、理解のきっかけになればと考えている。</p>	
2.地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>当グループホームは福祉ゾーンにあり、隣近所が遠く、つきあいが難しい環境ではあるが、町営住宅の方や散歩途中に出会う区民の方にあいさつや声かけをしていることで、関係が広がっていきなると考えている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の行事(小学校の運動会など)に参加させていただいている。またご利用者のご自宅のある地区での地蔵盆への参加、交流も深めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>前回の運営推進委員会において、地区の清掃活動や、元気な高齢者の集いに職員が参加させていただき、何かお役に立てればとの話し合いがあった。</p>	<p>ぜひ、具体的に話がすすむよう取り組みたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価において「地域」との関わりについて、重要視されている。それを受け、福祉ゾーンの中のグループホームとして、どのような方法で関われるかなど、職員で話す機会が増えた。地区の行事に参加することも、意識するようになった。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度、福住区区長、地域包括支援センターの出席を得、報告や情報交換、住民の思いをお聞きし、サービスの向上に活かせるよう取り組んでいる。</p>	
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>2ヶ月に1度、地域ケア会議に出席させて頂き、情報を得、サービスの向上に活かせるよう取り組んでいる。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>ご家族がご利用者を支えておられ、この制度の活用は現在必要ないと考える。一方、職員はこの制度等を知らない者が多いと思われる。</p>	<p>制度について学ぶ機会を設け、必要な方があれば支援につなげたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待について、身体的なものだけでなくことを会議や朝礼などの機会があるごとに触れ、管理者やリーダーから職員に話をしている。職員の言動が虐待につながらないように、注意を払い、指導している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人として異動はある。異動時には事前に報告したほうがよいご利用者には、その職員からあいさつするなど配慮している。		
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験の浅い職員が多く、また主婦で時間に制限のある職員が多いため、法人内部の毎月の研修にまず参加するよう、積極的に声をかけたり、本を紹介し、技量を高めることを勧めている。また、勤務内での気づきができるよう、リーダーは指導している。		
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ケア会議に出席することはネットワーク作りや学びにも活かしている。		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日々の声かけや食事会、また2ヶ月に1度業務レポートを提出することで、直接意見を言えることがストレスの軽減にもつながっている。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	外部の研修に行かせて頂いたり、介護福祉士の資格を積極的にとること等の話をきくこと、自分の意見を聞いてもらうこと等は、向上心を持つことにつながっている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご利用までにご本人から思いを聴く機会は少ない。初期に限らず、ご利用者の思いを聞き流さず、その時その時の思いを真剣に受け止め、共に考える姿勢を持てるよう努めている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>申し込みの希望がある際、または入所前、見学をして頂き、ご家族の思いをお聴きし、受け止められるよう努めている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談に来られた際は申込書の受け取りだけでなく、お話をお聴きし、必要であれば介護保険の説明など幅広い相談をしている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前にご本人にも見学に来ていただいたり、入所直後はご家族が可能であれば面会を多く持っていたり、ご自宅への外出、外泊もお勧めしている。ご家族と共に...との思いで相談しながら行っている。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は「介護する人」ではなく、ご利用者を人生の先輩として敬う気持ちを持ち、接することができるよう努めている。日常的に、台所、掃除、洗濯物干し、その他ちょっとしたことでも、学び、支えあっていると感じながら生活している。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	職員はご家族にはなれない。ご家族と共に、ご利用者を支えるという思いは強い。また職員がご家族に支えられていると感じることも多い。ご家族を支えたいと思い、関わるときもある。		
29	利用者との家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご利用者、ご家族の双方のお話等から関係について理解し、それぞれに合わせた必要な援助を行っている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご自分が立ち上げた会社、いつも行かれていたパーマ屋さん、毎年行っていた地藏盆、勤めていた喫茶店など、それぞれの場所に適した時に行くことができるよう援助している。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	「戸を強く閉められた」と悲しい思いを持たれている方と、そんなつもりのない方との間で、誤解が生まれないよう通訳をすることがある。またご利用者同士の関わりがあればそっと見守っている。職員が声をかけても、気持ちを閉ざしておられた方が、ご利用者の声かけで気持ちが和らぐ		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても「また寄ってもいいですか?」とおっしゃって下さるご家族がある。ぜひ、お茶でも飲みに来て頂ける関係が続けばと考えている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の言葉に耳を傾けるだけでなく、その行動からも考慮し、お一人お一人の思いの把握に努め、その方の生活につなげている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>日々のご本人のお話、ご家族からのお話から把握し、ご本人の思いが理解できるよう努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>お一人お一人の過ごされ方、心身状況等を把握した上でお一人お一人に合った活動を職員と共にして頂いている。</p>	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人が日々口にされる思い、行動に表される思い、ご家族のお気持ちを反映させたケアプランとなるよう努めている。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>1ヶ月に1度、居室担当者がケアプランの見直しを行なっている。毎日行なっているミーティングで、ケアプランのモニタリングを行ない、他の職員の意見も聞いた上で見直しし、次の新たな計画へとつなげている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や心身の変化、食事量等カルテに記載している。また情報収集しやすいよう、日誌に各人の特変事項を記載し、徹底事項はノートに記載し、情報が共有できるよう努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご要望に応じ、訪問看護が利用できたり、ご家族が泊まれることもある。		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ご利用者のご希望で逆デイをさせて頂いた際、近隣の理解を得るために、民生委員さんに窓口となっていただいたことがあった。また車の免許への思いが強いご利用者の方は、警察の方が直接相談にのって下さることで納得された。お世話になっている。		
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	特別養護老人ホームに入所を希望されている方の支援（情報提供）をさせていただいたり、病院に入院され退所に至った方について、在宅のケアマネさんに、今後を不安に思われるご家族の相談にのって頂くなど、連携し、支援している。		
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの方に、運営推進委員会に出席して頂いている。		必要に応じ、協働していけるよう働きかけたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	お一人お一人にかかりつけ医を持っていただいている。受診時、職員が生活のご様子や心身状況の変化について報告するなどの支援を行なっている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じ、専門医の診察を受けて頂いている。受診の際はご家族にも同行していただいている。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	それぞれのかかりつけ医の看護師さんに相談したり、同法人の老健の看護師にも相談にのってもらいやすい環境で、支援している。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された際、職員ができるだけ病院に足を運び、入院状況を聞いたり、普段のご様子をお伝えするなどの情報交換をし、退院に向けての支援につなげている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医の先生が、心身状況により終末期に向けての話し合いのタイミングを要所でご指導くださり、その都度、医師、ご家族、職員で話し合い、方針を共有することができている。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医が往診に来てくださり、また訪問看護の利用もして頂いている。ご家族も含め、連携しながら支援できている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	特別養護老人ホームから面接に来られた際の情報提供、文書での情報提供を行ない、ダメージ防止に努めている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	丁寧でゆったりとした言葉かけや態度となるよう努めている。また、特に排泄援助の際には声の大きさや職員間での言葉等にも十分注意している。	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	ご利用者の思いをお聴きしたり、行動からよみとったりしながら、職員も共に考え、ご自分で決めて頂けるよう援助している。	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	お一人お一人の生活のペースや好みを把握し、活動の声かけをしている。ご本人の希望に沿った生活ができるよう、職員が動けるよう努めている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	なじみの美容室に行かれるよう支援している。髪の毛の薄い方には帽子のおしゃれを援助し、また口紅等をつけて頂き、気持ちのよいときが過ごせるよう援助している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理が得意な方が力を発揮できるよう、その方の得意料理(ごま和え、酢の物)を毎昼食、夕食に取り入れている。また、その方以外の方にも準備や片付けに関わっていただけるよう工夫している。 外食や庭でのランチも好評である。		
55	利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	バナナ、あんぱんなど、好きなものをその方が食べたい時に食べれるよう、提供している。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表をつけ、排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行なっている。状況に応じ、早めにトイレ誘導するなど、表を活かしている。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご希望のある方は毎日入っていただけるよう努めている。入浴の時間のご希望がある方には、それに応じている。入浴では、職員とマンツーマンにてお話を楽しまれる方が多い。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人で眠りにくい方はリビングで安心して眠られている。逆に昼間でも、居室でゆっくりと休まれている方もある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	台所がしたい人、洗濯物を干したい人、職員と話がしたい人、自分の店をみたい人、百人一首をよみたい人、人形の相手をしたい人等、お一人お一人がしたい活動を支援している。		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力にに応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分でお金を持ちたい方には少額を持っていただいている。また、ご自分のものを買われるときなどのお支払いもできるだけお金を手にして頂き、お支払いに関わっていただいている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご自分の家、花を観るためのドライブ、買物、庭に出て風にあたるなど、毎日のように外出を援助している。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族と共にお城まつりに出かけたり、あるご利用者の誕生会として片道1時間かけてラベンダー畑に出かけたり、思い出の丹後半島に出かけたりしている。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	はがきを書くのが好きなご利用者がいらっしゃる。ご家族や知人、異動になった職員との文通をされている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族や、知人の方が来て下さった際、居室やリビングにてゆっくりくつろいでお過ごしいただけるよう、お茶をお出ししたり、また来ていただけるようお声をかけたりしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	介護経験の浅い職員が多く、知らない職員もいる。		勉強会を開催し、全職員が正しい理解ができ、よりよいケアにつながるよう努めたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関のみ電子ロックをさせていただいている。しかし、鍵に頼らないケアをしている。玄関でワンクッションがあることで、職員が声かけし、ご利用者が玄関に向われた思いをお聴きしている。		
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常時、所在の把握をしている。夜は各居室の音に集中し、また1時間に1度訪室させていただき、安全を確認している。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入れ歯をなくされやすい方はお預かりし、できる方はご自分で管理して頂いている。また、はさみ等も同様である。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒の危険の大きい方にはベッドサイドにソファを置かしていただいたり、布団に鈴を付けさせていただくなど、事故防止に取り組んでいる。事故報告書は次に同じようなことを起こさないために、活かしている。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	介護経験の浅い職員が多く、「発見者 応援を呼ぶ リーダーに連絡する」という対応をすることを徹底している。		応急手当等の訓練、勉強会を重ねていきたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災を想定した避難訓練を消防署の協力を得て実施している。		消防署の方だけでなく、運営推進委員会や地域ケア会議を通し、その他の地域の方々の協力も得られるよう考え、取り組んでいきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	昨冬、下痢等の症状があった。取り決めに従い、食器や掃除のハイター消毒を徹底して行なった。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	主に食器や調理用具はハイターを使用し消毒している。また食器乾燥機も使用している。買物は毎日し、豆腐等のいたみやすい食品は直前に調理している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関や庭は、花でお出迎えできるよう配慮している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルの花は季節を教えてくれ、話題を提供してくれる。リビングからは台所の様子がよく見え、心地よい音が聞こえている。日中リビングの照明を暗くして皆で涼む時もある。光の使い方に気を付けている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お気に入りのソファや椅子があり、それぞれにご自分の居場所がある。廊下のつきあたりの椅子は一人になりたいとき、一服されたいときにうまく利用されている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋を間借りして頂いている感じで、できるだけ使い慣れたものを持ってきていただくよう、ご利用者、ご家族に協力を依頼している。また、居室にすだれをかけさせていただいたり、居心地よい空間になれるよう努めている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	気温が30度を超える日には、冷房を28度に設定し使用している。30度以下であれば、窓を開け、風が通りぬけるようにしている。冷房が嫌いなご利用者の居室にはすだれをしたり、おられないときに冷房をかけさせていただいたり、また暑がりの方には温度を低めに設定したり、各人に応じて配慮している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを廊下、トイレ、浴室に設置している。それにより、身体機能を維持できている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	体がしんどいときに混乱されやすいため、疲れすぎられないよう、活動を調整させていただいたり、時間をかけてお話を聴くことで、混乱を予防できることがある。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダに洗濯物を干していただいたり、布団を干したり、庭で草取りをしたり、風にあたっていたり、庭でランチをしたりが日常である。		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目 (2階ユニット)		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「帰りたい」とおっしゃるご利用者がいらっしゃる。その言葉からその向こうにあるご利用者の気持ちをお聴きしたり、推測したり、一緒に考えることで、そのご利用者の本心に触れることができる。いつも同じことをおっしゃるご利用者に、その時その時に真剣に向き合うことで、ご利用者との関係ができ、おちつかれやすくなったと感じている。時々、職員にやつあたりされることもある。すぐに忘れられてしまっても、その時々で違うことをおっしゃっても、そのときに口にされた思いは本物であることを重く受け止め、一緒に生活していきたい。1年に1~2名、医療的にターミナル期を迎えられるご利用者がある。ご理解のある主治医の先生にご指導頂き、訪問看護さんにお世話になりながら、ご家族と共に最期を迎えられている。ご家族より「ここで最期まで過ごさせたい」「台所の音の聞こえるここで」とのご意向をきき、また「職員さんのおかげで心強かった」などと言っている。職員もこのことから、さらに成長しているように思う。ご利用者お一人お一人に満足して頂ける瞬間、日々が得られるよう、職員はご家族と共に力を尽くしている。